



学校だより第4号

令和8年6月30日

発行

大阪市立大開小学校

100年後の未来へ夢をつなぐ

暑さが日増しに厳しくなる季節となりました。近畿地方では、6月4日に梅雨入りが発表されました。台風の影響もあり、雨が降りやすいすっきりとしない天気が続いていますが、6月17日はプール開きでした。日差しが遮られた曇り空でしたが梅雨特有の少し蒸し暑さも感じられる一日でした。プール日和とは言えませんでした。この日を待ちに待っていた子どもたちは、キラキラ輝く笑顔で、水の感触を楽しんでいました。1学期も残すところ約3週間です。少しでも多く水泳学習を実施したいと思っておりますので、朝の健康観察及びミマモルメを通してのチェック（8時30分までに）、水着等の持ち物の忘れ物がないようご協力よろしく願いいたします。

さて、今から144年前の1882年、スペインのバルセロナで一つの壮大な建物の建設が始まったことをご存じのことと思います。世界遺産としても有名な「サグラダ・ファミリア」です。今年2026年6月10日に、この建物の中心となる最も高いメインタワー「イエスの塔（高さ172.5メートル）」がついに完成し、世界で一番高い教会となったとのニュースがありました。

設計者である建築家ガウディは、自分の命があるうちにはこの建物が完成しないことを知っていました。しかし彼は「これからはもっと素晴らしい技術を持った人たちが現れ、自分の夢を引き継いでくれるはずだ」と信じ、未来の仲間たちのためにたくさんの模型やスケッチを残したそうです。途中で戦争があり大切な設計図が燃えてしまうという大きな試練もありました。それでも100年以上の時を超えて世界中の建築家や職人たち、その中には彫刻家として日本人の外尾悦郎（そとお えつろう）氏もいますが、ガウディの思いを読み解き、現代の3Dプリンターなどの最新技術も取り入れながら、メインタワーが完成しました。しかし、教会全体としては今もなお建設は続いています。この出来事は私たちに「あきらめずに情熱を持ち続けること」「自分が始めた大切なことを次の世代へつないでいく素晴らしさ」を教えてください。

子どもたちが、今取り組んでいる委員会活動やクラブ活動、日々の学習もすべて次の学年やこれからの未来へとつながっています。このことを子どもたちに伝え、ガウディのように「未来の自分や仲間のために今できること」を一生懸命に積み重ね、目の前の課題に真剣に向き合い、充実した毎日を過ごせるよう、指導・支援を続けてまいります。

梅雨明けは7月中旬の予想です。暑い夏を元気に乗り切るためにも、十分な栄養補給（食事）と睡眠（休息）、適度な水分補給、帽子の着用等、ご家庭でもお声かけいただきますよう、よろしくお願いいたします。